1. 教員養成の目標及び目標達成のための教育計画

子ども学科

① 教員養成の目標

子ども学科では、幼児期と児童期の子どもの教育に携わる教員、さらには家庭と連携して、両親の子育てを支援し、地域における子育て・教育ネットワークの中核的人材として活動できる教員の養成を目指している。

幼稚園教諭一種免許状と小学校教諭一種免許状、及び特別支援学校教諭一種免許状（知・肢・病）を卒業と同時に取得できる課程の設置により、「幼小の連携と接続、特別な支援が必要な児童についての理解」という時代の要請に応えるとともに、子どもの発達を総合的に理解し、的確に対応できる指導力と実践力を備えた教師の育成を図る。

② 目標達成のための教育計画

子ども学科では、教職課程の質の向上と学生に対する責任ある教職指導を実現するために「教職課程委員会」を設置し、教科指導及び実習指導の充実を図っている。とくに小学校教育実習に関しては、「地域の子どもの教育を担う教師を、地域で育成する」という理念のもと、佐賀市教育委員会と協定を締結し、小学校教員免許状取得を希望する学生全員が佐賀市立の小学校で実習をしている。

事前指導においては、幼稚園・学校現場での教育のDX化に対応できるよう、電子黒板やタブレット等を用いた模擬授業の実施や校務のDX化に対応したスキルの習得を導入している。さらに、実習期間中は、実習担当教員のみならず子ども学科の全教員が実習校・園を巡回指導して担当教諭とコミュニケーションを図り、ひとりひとりの学生に対するきめ細かな指導を行っている。また、学生は教育実習終了後も、実習校の依頼に応じて、ボランティアとして実習校の行事や学習支援等に積極的に関わっている。